

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse names (e.g., ケイアイチヨウサン, サクラオーシャン). Includes race conditions and horse details.

◎本格化ムードの2頭◎
デイサイフアは前走④着として、初重賞で外を動く正攻法の競馬で0秒1差、力強さ・安定感を増して好勝負。

でも直線伸びて⑤着に好走。追い込み型だが、インを突く器用さもあり中山OK。

前走好走の6歳馬。休養が吉と出た感があるのはユニバーサルバンクとセイイク。

リッドパレー。復帰後2戦は安定した内容で連対候補。前走インを突いて小差⑤着だった。カルドブレッサ・サクラアルディート。中山向きの器用さで上位進出可能。

◎二千の実績馬◎
昨年の有馬②着オーシャン。ブリンスバルサムンが実績。ブリンスバルサムンが活躍。中山でも2勝、リームあたり。

53キロで粘り込みに注意。別候補は、前々走オーシャンのGⅢで③④着がある、ニッキーパーンキン・マックスドレイサイフア。

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse names. Includes race conditions and horse details.

リッドパレー。復帰後2戦は安定した内容で連対候補。前走インを突いて小差⑤着だった。カルドブレッサ・サクラアルディート。中山向きの器用さで上位進出可能。

◎二千の実績馬◎
昨年の有馬②着オーシャン。ブリンスバルサムンが実績。ブリンスバルサムンが活躍。中山でも2勝、リームあたり。

53キロで粘り込みに注意。別候補は、前々走オーシャンのGⅢで③④着がある、ニッキーパーンキン・マックスドレイサイフア。

リッドパレー。復帰後2戦は安定した内容で連対候補。前走インを突いて小差⑤着だった。カルドブレッサ・サクラアルディート。中山向きの器用さで上位進出可能。

◎二千の実績馬◎
昨年の有馬②着オーシャン。ブリンスバルサムンが実績。ブリンスバルサムンが活躍。中山でも2勝、リームあたり。

53キロで粘り込みに注意。別候補は、前々走オーシャンのGⅢで③④着がある、ニッキーパーンキン・マックスドレイサイフア。

リッドパレー。復帰後2戦は安定した内容で連対候補。前走インを突いて小差⑤着だった。カルドブレッサ・サクラアルディート。中山向きの器用さで上位進出可能。

◎二千の実績馬◎
昨年の有馬②着オーシャン。ブリンスバルサムンが実績。ブリンスバルサムンが活躍。中山でも2勝、リームあたり。

53キロで粘り込みに注意。別候補は、前々走オーシャンのGⅢで③④着がある、ニッキーパーンキン・マックスドレイサイフア。

リッドパレー。復帰後2戦は安定した内容で連対候補。前走インを突いて小差⑤着だった。カルドブレッサ・サクラアルディート。中山向きの器用さで上位進出可能。

◎二千の実績馬◎
昨年の有馬②着オーシャン。ブリンスバルサムンが実績。ブリンスバルサムンが活躍。中山でも2勝、リームあたり。

53キロで粘り込みに注意。別候補は、前々走オーシャンのGⅢで③④着がある、ニッキーパーンキン・マックスドレイサイフア。

本紙の見解 飛躍の年デイサイフア
昨年夏からの充実振りが際立つデイサイフア。重賞初挑戦となった福島記念は④着だが、着差は0秒1。速い流れを外た回って追走しては苦しいが、内容は勝ちに等しいものだった。兄アドマイヤタイシが本格化した5歳を迎え、飛躍の年となる予感。この目標に、仕上がりも申し分ない。有馬②着の実力馬オーシャンブルーが相手。【波乱含み】







大川浩史

今の中山芝は重い  
昨年12月の中山芝(千六以上)の種牡馬成績は

シンボリクリスエス(40377)ステイゴールド(33118)ディープインパクト(33118)ステイゴールドとディープインパクトがまったく同じ数字なのはコピペミスではない。ただし、単勝回収率はステイゴールド11%に対してディープインパクト23%とだいぶ違う。しかも1位はシンボリクリスエス。どういう芝だったのか、よく分かる(いわゆる重い芝だった)。年が明けてCコース(昨年12月はAコース)に移るが、芝の性質が変化している可能性はあまりないはず。

編集長の爪

1995年から2007年まで13年間サンデーサイレンスの時代が続いたあと、08年アグネスタキオン(早世)→マンハッタンカフェがチャンピオンに輝いた日本の種牡馬総合ランキングは、表のようになる(産駒が3歳に達した年以降を対象)

10年に新種牡馬ランキング1位で登場したディープインパクトと、08年に同様に新種牡馬デビューしたキングカメハメハのマッチレースが2年続く。それに少し離れてシンボリクリスエスが続き、以下は、堅実に上位に食い込むクロフネ以外は、サンデーの後継馬がベスト10入りを争っている。ベテラン種牡馬になってから評価一変、急上昇のステイゴールド(20歳を別格とすると、若いダイワメジャー(13歳)、ハーツクライ(13歳)が総合順位をどんどん上げていく。サンデーサイレンスの初年度産駒で、昨年まで14年間も連続してランキング10位以内を維持してきたのは、今年22歳になったフジキセキ。体調を崩してしまったため、

クト23%とだいぶ違う。しかも1位はシンボリクリスエス。どういう芝だったのか、よく分かる(いわゆる重い芝だった)。年が明けてCコース(昨年12月はAコース)に移るが、芝の性質が変化している可能性はあまりないはず。

ケイアイチョウサン(中山11父)は父ステイゴールド、母の父シンボリクリスエス。ラジオNIKKEI賞(後方からイン突き)はラッキーパンチだが、戦歴から読み取れるのは「重い芝向きの底力タイプ」だということ。今の中山芝はピッタリ。

事実上、16年間にわたった種牡馬生活を引退したフジキセキの産駒は、11年生まれの明け3歳馬が最終世代になる。昨年が10位なので、もうランキング上位は苦しいが、中山4Rステイゴールドキセキ 中山5Rトールドキセキ 京都0Rメイケイベガスター 京都0Rエイシンキンチェムあたりは、「一富士」くらいで、初日から馬券になる可能性が十分ある。とくに京都金杯のメイケイベガスターは、マイルへの方向転換は大正解と思える。ダノンシャンティ、サダムパテック、コイウタ、カネヒキリ(フエブラリス)、キンシャサノキセキなど、フジキセキの代表産駒はマイル前後を理想とする馬が断然多い。(柏木)

- 9 10 11 12 (年)
- ④ ① ① ディープインパクト
- ③ ① ② キングカメハメハ
- ④ ④ ④ シンボリクリスエス
- ④ ④ ④ ダイワメジャー
- ⑦ ⑦ ⑦ ハーツクライ
- ⑩ ⑩ ⑩ ステイゴールド
- ⑤ ⑤ ⑤ ハットタンカフェ
- ⑤ ⑤ ⑤ クロフネ
- ⑤ ⑤ ⑤ ネオユニヴァース
- ⑥ ⑥ ⑥ フジキセキ

《金杯馬連について》  
「中山金杯」および「京都金杯」の「馬連」を対象に、通常の払戻金に売上げの5%相当額を上乗せして払戻しいたします。  
JRA 日本中央競馬会



小本曾大祐

過去には1月4日や6日の開幕もありましたが、やはり中央競馬は1月5日が定番のスタート。今年もお付き合ひ、よろしくお願ひします。

前半から変わり身に注目した2頭。まずは②Rのシャイニ1バテオ。前走は千通過64秒0の遅い流れ。スタートで挟まれ殿から、直線は外に出し切れず馬込みからの追撃と、不利な展開の中、着差・着順以上に目立つ伸び脚でした。ダート2戦目、狙い撃ちします。

⑤Rはナイフリッジ。こちらの前走も行き脚が悪く、最後方から直線入り口では大きく膨らむロスもありましたが、それでもゴール前、一気の猛追。幼さ全開ですが、逆に言えば秘めた能力は相当なモノ。先物買いを狙います。

競馬人情 吉川良

あけましておめでとうございませう。2014年も「日刊競馬」、そしておまけに「競馬人情」も、よろしくお願ひいたします。去年は10月に兄が遠方へ旅立って喪中となり、年賀状を書かずに新年をむかえました。喪中には喪中の酒の味が有り、相変わらず酔っぱらいのお正月というわけ。正月2日は箱根駅伝の3区(戸塚から平塚へ)の遊行寺の坂のあたりで走者が来るのを待ち、通過するほとんどの走者へ、「がんばれえ!」と声をあげました。叫ぶと、なんだかい気分です。翌日は小田原中継所の近くで

藤本貴久の「囁き」  
中山2R ドリームエルダー  
厩舎回りしながら新年の挨拶へ。すると顔?いや違う!もっと視線は上か?挨拶より先に「あつ御来光」と合掌されるお約束。まっ今年もよろしくです。「粘り強き一段」増す。先手主張で押し切り!



藤本貴久

《今週の「WIN5」》  
【1月5日(日)WIN5対象レース】  
WIN5① 14:35 京都0R 福寿草特別  
WIN5② 14:50 中山0R ジュニアC  
WIN5③ 15:10 京都0R 初夢S  
WIN5④ 15:25 中山0R 中山金杯(GⅢ)  
WIN5⑤ 15:45 京都0R 京都金杯(GⅢ)  
\*発売締切時刻 即PAT・A-PAT...14:25  
JRAダイレクト...14:20  
\*1月4日(土)18:30から発売を開始します。  
JRA 日本中央競馬会

復路7区のレースを眺め、声をあげて拍手。その帰りに夕方からの、昔は所属していた草野球チームの新年会へ行きました。「駅伝を見に行ってきたよ」と言った私に、「テレビのほうがよく見えるじゃないですか」と若い奴が反応した。余計なことを言うなとムカつきましたが、そこはガマン、「それはそうなんだけど」と私はがんばって笑いました。今年も競馬場へ、ウイーンズへ出かけます。行く道も帰り道も、それを含めて「おれの競馬」なのです。中山金杯です。ユニバーサルバンクからケイアイチョウサンへの馬単。京都金杯はオースミナインからメイケイベガスターへの馬単。